

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	50%	自校A B層の割合	40%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて」と「まとめ」を毎時間必ず示す。</li> <li>・「前時のふりかえり」を行い、本時の意欲につなげるとともに、授業の終わりに「本時のふりかえり」を行い、次時への意欲につなげる。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業展開の手順である「つかむー考えるーかかわるー深める」を共有し、授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎計算力を高めるための3分間で行う計算プリント「がんばルンバ」を、実施する（2年生以上）</li> <li>・授業や宿題で「ドリルパーク」を活用し、既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に5回、学校全体で計算力を競う大会「がんばルンバ選手権」を行い、成績上位者を表彰する。</li> <li>・江戸っ子Study week年3回にて、ドリルパークへの取り組みを確認し、個別指導を行う。</li> <li>・毎学期の始まり時に「家庭学習強化週間」を実施し、保護者に協力を求めながら家庭学習の習慣の確立を図る。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童自身が自己の力に応じた課題や解決方法を選べるように、複数の課題や手だてを用意する。</li> <li>・児童の実態に応じた課題を個別に設定し、「できた」という達成感を味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な問題から取り組ませて自己肯定感を高めるとともに、つまづきを発見し、戻って指導する。</li> <li>・放課後補習教室を活用し、既習事項への定着を図らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携し、「ドリルパーク」を毎日必ず10分間程度（個に応じる）取り組ませ、家庭学習強化週間には実施状況をカードに記録して意欲づける。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ドリルパーク」の活用状況年間2000ポイント以上。</li> <li>・学校独自の児童アンケートにおいて、「授業の内容がよくわかりますか」の肯定的な回答割合が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の児童アンケートにおいて、「毎時間振り返りを行っている」「めあてとまとめを書いている」の肯定的な回答が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校独自の児童アンケートにおいて、「授業時間以外の勉強時間が30分以上」の回答割合が80%以上</li> </ul>